

日航財団、「2005JALスカラシッププログラム」を開催！

～ 32回目のテーマは、「グローバル化—21世紀のアジア、私たちができること」～

2005年8月9日

第05052号

JALグループの(財)日航財団(理事長:近藤 晃)は、8月10日から31日までの22日間、アジア・オセアニアの11の国と地域から大学生36名を招待し、「2005JALスカラシッププログラム」を開催します。

32回目を迎える今年は、「グローバル化—21世紀のアジア、私たちができること」をテーマに、東京での「地球人講座」やホームステイ、フィールドトリップ、日本地区学生も加わっての石川県での学生セッションとアジアフォーラムなどのプログラムを企画しています。「地球人講座」では、各界の第一線で活躍する講師陣を迎え、日本文化や経済のみならず、野鳥やサンゴ礁を切り口とした環境問題、バリアフリー社会や感染症などの社会問題についても学びます。プログラムの集大成となるアジアフォーラムでは、学生セッションでの事前学習、グループディスカッションを基に、基調講演、記念講演、パネルディスカッションを通して、今回のテーマの核心に迫ります。

JALスカラシッププログラムは、1975年に「アジアと日本の友好」をテーマに、アジア・オセアニアの大学生を対象に、日本理解の促進、域内の相互理解促進を通じて、将来のコミュニティーの核となる人材育成を図ることを目的として日本航空によって創設されました。1990年に発足した(財)日航財団が同プログラムの運営を引き継ぎ、時代のニーズを反映しながら内容を拡充・発展させてきました。現在はJALグループの社会貢献活動として、「めざせ地球人」というスローガンのもと、「地球的規模で考え行動できる人材を育成すること」を目的に企画・運営されています。

2004年までに1,214名の学生を迎え、卒業生の多くは、日本とアジア、アジアと世界の掛け橋として各界で活躍しています。

JALグループと日航財団は、この一連のプログラムを通じて21世紀を担うアジア・オセアニアの若い世代に、日本への理解を深めてもらうと同時に、相互の信頼関係とネットワークを築き、さらに良好な国際関係進展の一助となることを願っています。

【「2005JALスカラシッププログラム」の主な内容】

8月11日～16日 「地球人講座」(東京)

各界の第一線で活躍する講師陣を迎え、日本文化・経済・環境・社会問題等について学びます。

8月17日～18日 フィールドトリップ

富士山へのフィールドトリップを行い、富士山を取り巻く自然環境や課題について学びます

8月19日～21日 ホームステイ(東京地区)

日本の家庭での生活を現地体験し、日本に対する理解を深めます。

8月23日～28日 学生セッション、アジアフォーラム、日本文化体験(石川県金沢市、白山市)

「地球温暖化」「戦災復興のために私たちに何ができるか」という2つのサブテーマを通じてテーマを深く掘り下げていきます。

参考:「JALスカラシッププログラム」の経緯と実績

1. 発足に至る経緯

1970年代初め、高度成長期の日本に対する批判がアジア各地で高まり、日本製品排斥運動や日本批判の嵐が吹き荒れていた。その中で、田中角栄元首相が1974年にJAL特別便でアセアン諸国を訪問した際、タイやインドネシアで学生を中心とする反日デモに遭遇した。これを知った当時のJAL社長(朝田静夫)は、JALが乗り入れているこの地域の若者に実際の日本の姿を見てもらえば相互理解を促進することができると考え、日本とアジアの友好のために、1975年「JALスカラシッププログラム」を発足させた。その後2度にわたるオイルショックなど、厳しい経営状況の時期もあったが、毎年継続実施し、2005年には30周年を迎える。

2. 発足後昨年までの実施年度と対象国・地域および参加者数

1975年より毎年1回実施し(但し、1976年のみ春・夏2回実施)、2005年で32回目となった。初年度は香港・インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポールから30名を招待した。その後順次対象とする国・地域を拡大していったが、1992年からアジア・オセアニアに絞ることとした。昨年までの総参加者数は1,214名にのぼる。

【2004年までの国・地域別参加者数、および2005年度参加予定者数】

	期間	累計	2005年度参加予定者数
香港	‘75 - ‘97	106名	-
フィリピン	‘75	131名	3名
シンガポール	‘75	132名	3名
マレーシア	‘75	131名	3名
インドネシア	‘75	132名	3名
タイ	‘76	128名	3名
米国	‘77 - ‘91	63名	-
ブラジル	‘80 - ‘90	24名	-
韓国	‘81	93名	4名
オーストラリア	‘83	60名	3名
ニュージーランド	‘83	37名	2名
中国	‘85	94名	6名
台湾	‘91	46名	3名
ベトナム	‘92	37名	3名
総計		1,214名	36名

注) 香港からの参加者は、98年から中国へ計上